

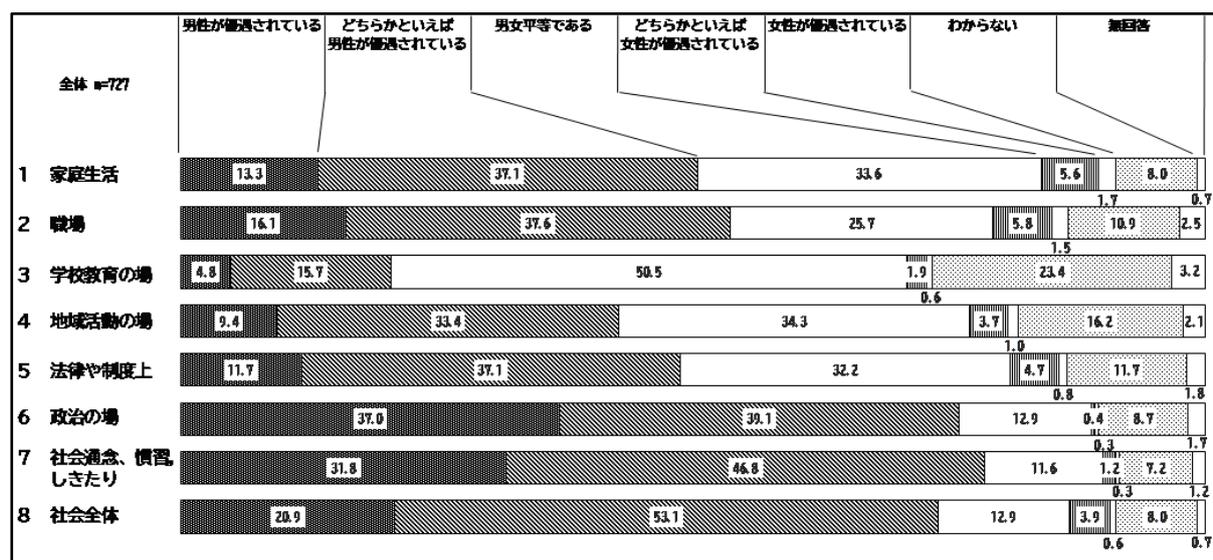
Ⅲ. 調査結果の分析

Ⅲ. 調査結果の分析

1 男女平等意識について

(1) 男女の地位の平等に関する意識

問5	あなたは、次の各分野での男女の地位が平等だと思いますか。
----	------------------------------



- 「学校教育の場」以外は、“男性優遇”の割合が高く、特に、「政治の場」や「社会通念、慣習、しきたり」、「社会全体」では7割以上となっている。
- “男女平等である”とする割合は、「学校教育の場」(50.5%)が最も高く、以下、「地域活動の場」や「家庭生活」、「法律や制度上」が3割以上で続いている。
- “女性優遇”の割合は低く、「家庭生活」と「職場」(7.3%)、以下、「法律や制度上」(5.5%)、「地域活動の場」(4.7%)、「社会全体」(4.5%)と続き、他は3%未満である。

※ “男性優遇”とは、「男性の方が優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合の合計。
 “女性優遇”とは、「女性の方が優遇されている」と「どちらかといえば女性が優遇されている」の割合の合計。

◇全体ランキング

ランキング別でみると、“男女平等である”とする割合は、「学校教育の場」をトップに、「地域活動の場」、「家庭生活」、「法律や制度上」が上位にあり、「社会通念、慣習、しきたり」が最下位となっている。

“女性優遇”とする割合は、「家庭生活」と「職場」がトップ、次に「法律や制度上」が続き、「社会通念、慣習、しきたり」や「政治の場」が下位にある。

“男性優遇”では、「社会通念、慣習、しきたり」や「政治の場」、「社会全体」が7割台で上位を占め、「学校教育の場」が最下位にある。

(%)

項目	順位	「平等である」
学校教育の場	1	50.5
地域活動の場	2	34.3
家庭生活	3	33.6
法律や制度上	4	32.2
職場	5	25.7
政治の場	6	12.9
社会全体		12.9
社会通念、慣習、しきたり	8	11.6

(%)

項目	順位	”女性優遇”
家庭生活	1	7.3
職場		7.3
法律や制度上	3	5.5
地域活動の場	4	4.7
社会全体	5	4.4
学校教育の場	6	2.5
社会通念、慣習、しきたり	7	1.5
政治の場	8	0.7

(%)

項目	順位	”男性優遇”
社会通念、慣習、しきたり	1	78.5
政治の場	2	76.1
社会全体	3	74.0
職場	4	53.6
家庭生活	5	50.5
法律や制度上	6	48.8
地域活動の場	7	42.8
学校教育の場	8	20.5

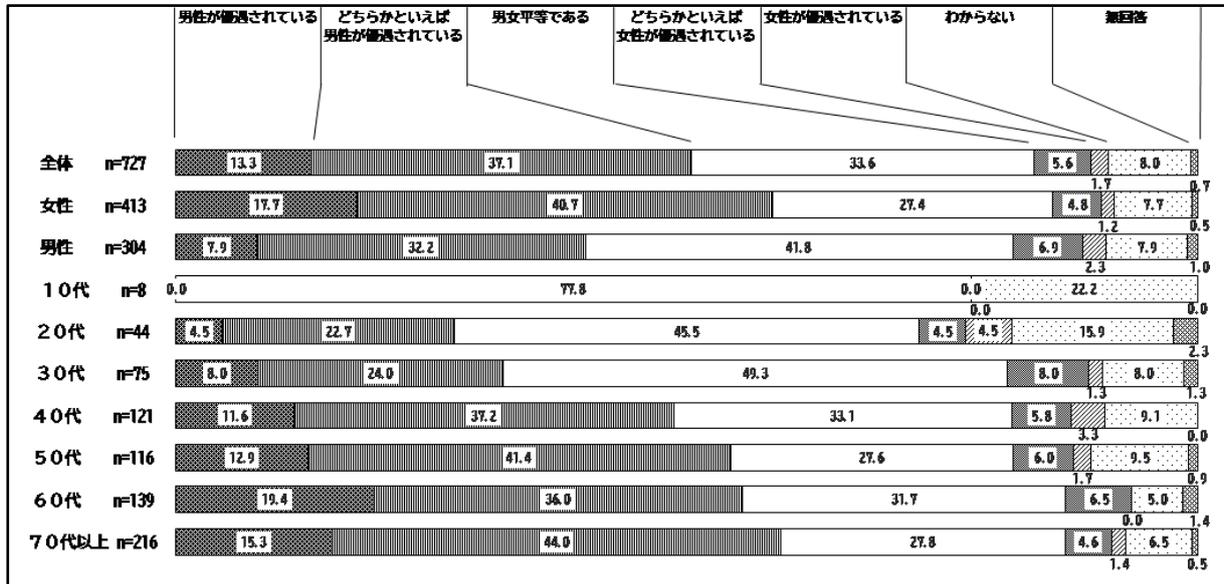
※ “男性優遇”とは、「男性の方が優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合の合計。

“女性優遇”とは、「女性の方が優遇されている」と「どちらかといえば女性が優遇されている」の割合の合計。

① 家庭生活

◇全体

“男性優遇” 50.4% > “男女平等である” 33.6% > “女性優遇” 7.3%



- 全体では、“男性優遇”が50.4%、“男女平等である”が33.6%、“女性優遇”は7.3%である。
- “男性優遇”とする割合は、過半数を占める女性が男性を上回り、年代別では、最も高い70代以上(59.3%)を中心に、40代から70代以上の中高年代での割合が高い。
- “男女平等である”は、男性(41.8%)が女性(27.4%)を上回り、年代別では30代以下の年代の割合が高い。
- “女性優遇”は、性別、年代別とも1割未満と低い。

◇性別

“男性優遇”の割合は、女性(58.4%)が男性(40.1%)を18.3ポイント上回り、“男女平等である”の割合は、男性(41.8%)が女性(27.4%)を14.4ポイント上回る。

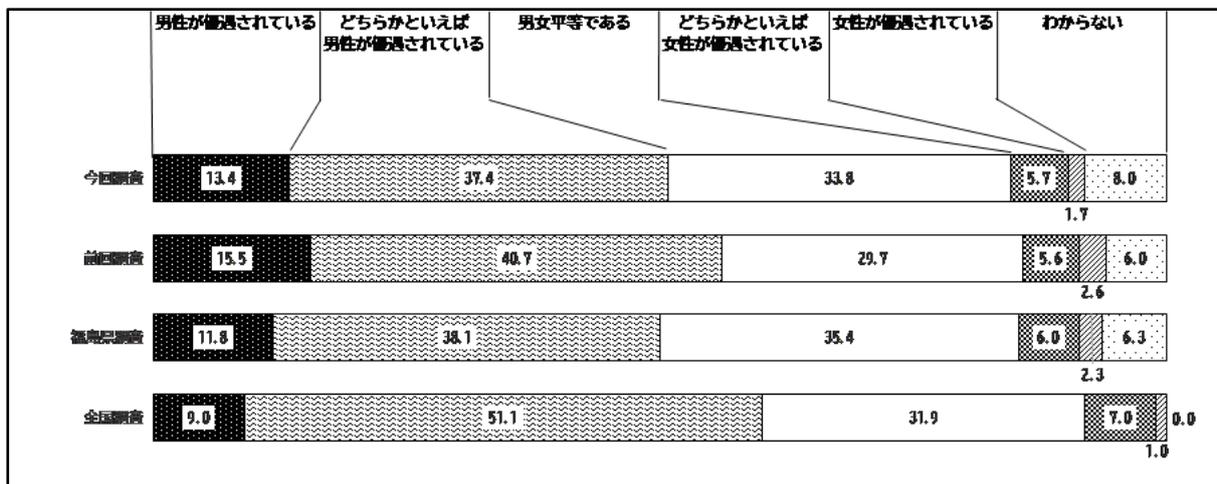
また、“女性優遇”では、男性(9.2%)が女性(6.0%)より3.2ポイント高い。

◇年代別

“男性優遇”の割合は、70代以上(59.3%)をトップに、60代(55.4%)、50代(54.3%)と続くなど、年代が上がるにつれて高くなる。一方、“男女平等である”は10代(77.8%)が特に高く、“女性優遇”は、どの年代でも1割未満である。

◆前回調査・福島県調査・全国調査との比較

“男女平等である”の割合は、福島県より1.6ポイント低いものの、前回調査より4.1ポイント増加している。“男性優遇”は全国より低く、福島県より高い。なお、前回調査からは5.4ポイント減少している。“女性優遇”はいずれも1割未満と低く、前回調査よりも0.4ポイント減少している。



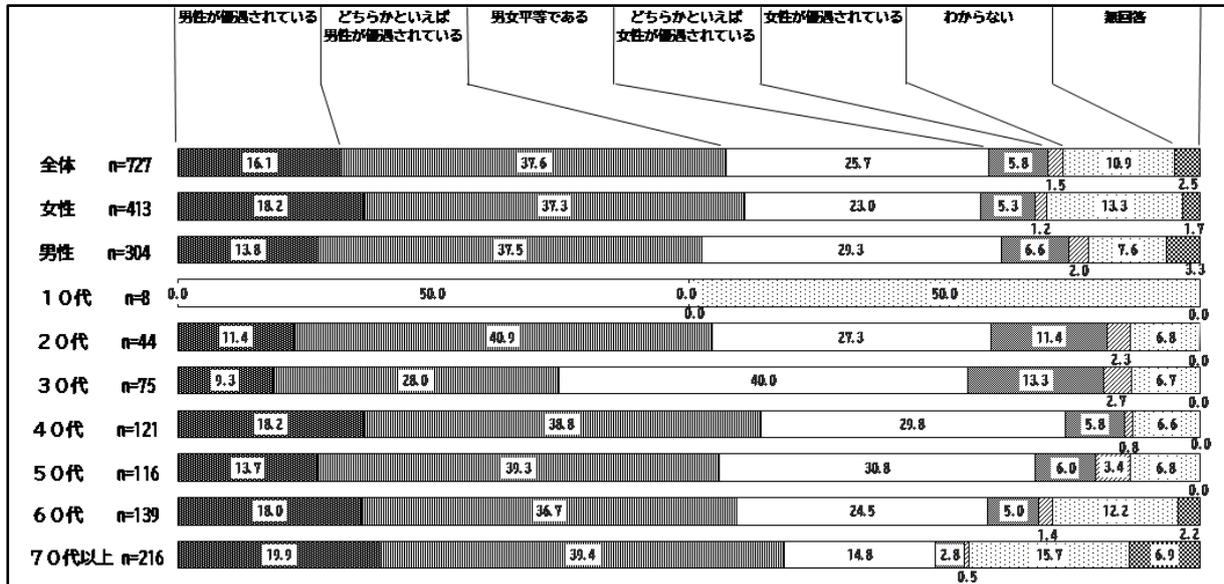
(※無回答を除き100として再計算した割合)

(%)	“男性優遇”	「平等である」	“女性優遇”
今回調査	50.8	33.8	7.4
前回調査	56.2	29.7	8.2
福島県調査	49.9	35.4	8.3
全国調査	60.1	31.9	8.0

② 職場

◇全体

“男性優遇” 53.7% > “男女平等である” 25.7% > “女性優遇” 7.3%



- 全体では、“男性優遇”が53.7%、“男女平等である”が25.7%、“女性優遇”は7.3%である。
- “男性優遇”の割合は、男女とも過半数を占めるとともに、女性が男性を若干上回る。
- “男女平等である”は、男性(29.3%)が女性(23.0%)を上回り、年代別では10代(50.0%)が最も高く、次に30代(40.0%)と続く。60代以上の高年代の割合は低い。
- “女性優遇”の割合は、20代から30代でそれぞれ1割を超えるが、他の年代は1割未満である。

◇性別

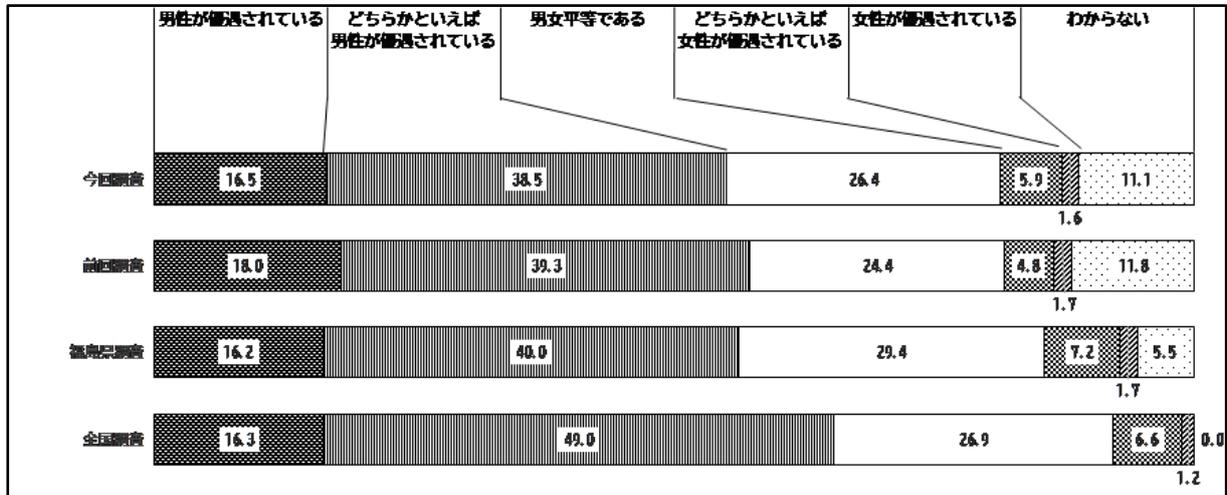
“男性優遇”は、女性(55.5%)が男性(51.3%)を4.2ポイント上回る。一方、“男女平等である”と“女性優遇”の割合は、男性が女性をそれぞれ6.3ポイント、2.1ポイント上回る。

◇年代別

“男性優遇”は、70代以上(59.3%)をトップに、40代から60代の中高年の割合と20代の割合も高い。一方、“男女平等である”は、10代の5割をトップに20代から60代まで約3割前後に対して70代以上は1割台と低い。また、“女性優遇”は20代と30代が1割台でそれ以外は1割未満と低い。

◆前回調査・福島県調査・全国調査との比較

“男性優遇”は、前回調査、福島県、全国より低い。また、“男女平等である”の割合は、福島県と全国より低いものの、前回調査より2.0ポイント増加している。



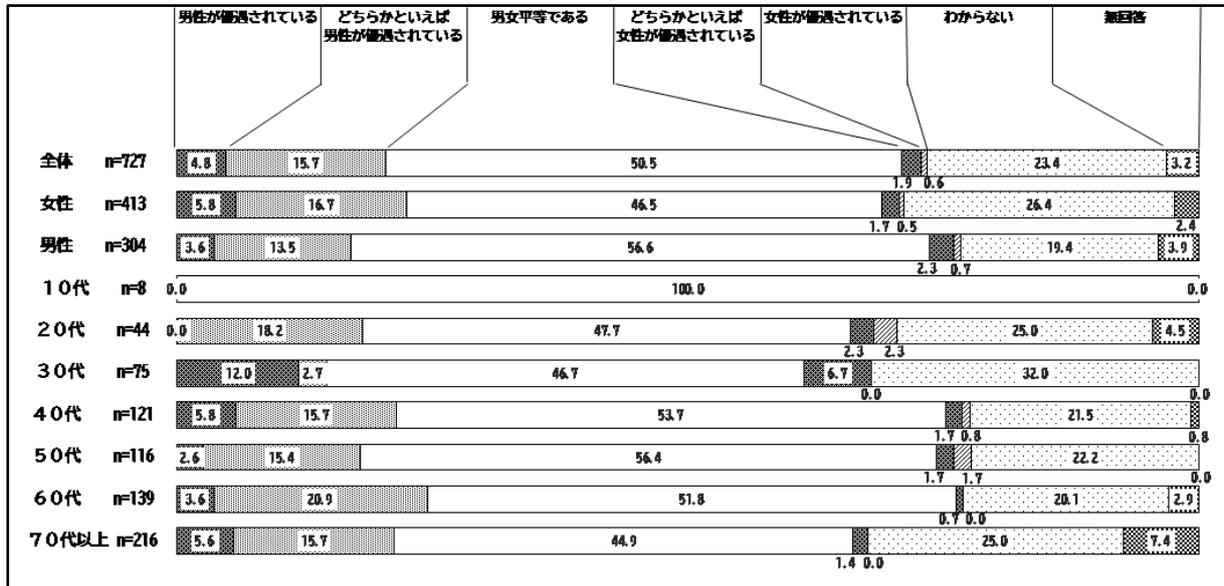
(※無回答を除き100として再計算した割合)

(%)	“男性優遇”	「平等である」	“女性優遇”
今回調査	55.0	26.4	7.5
前回調査	57.3	24.4	6.5
福島県調査	56.2	29.4	8.9
全国調査	65.3	26.9	7.8

③学校教育の場

◇全体

“男女平等である” 50.5% > “男性優遇” 20.5% > “女性優遇” 2.5%



- 全体では、“男女平等である”が 50.5%、“男性優遇”が 20.5%、“女性優遇”は 2.5% である。
- “男女平等である”の割合は、男性（56.6%）が女性（46.5%）を上回り、各年代とも高い割合にある。
- “男性優遇”は、女性（22.5%）が男性（17.1%）を上回り、年代別では 20 代から 70 代以上が 2 割前後である。一方、“女性優遇”はいずれも 1 割未満と低い。

◇性別

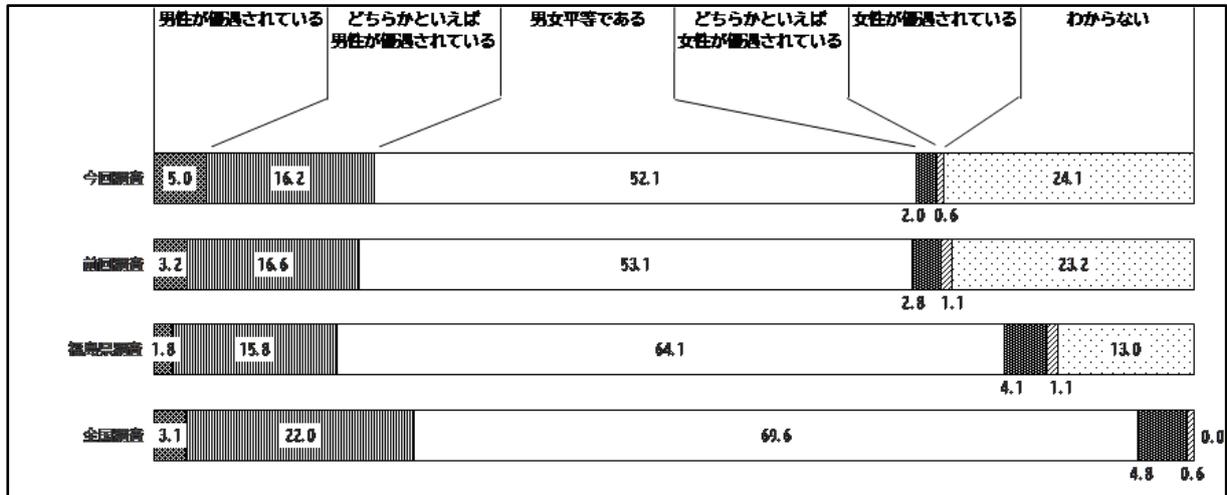
“男女平等である”は、男性（56.6%）が女性（46.5%）を 10.1 ポイント上回り、“男性優遇”の割合は、女性（22.5%）が男性（17.1%）を 5.4 ポイント上回る。“女性優遇”は、男女ともに割合が低い。

◇年代別

“男女平等である”は、各年代で高い割合にあるが、特に 10 代が 10 割と高くなっている。また、“男性優遇”は、60 代と 40 代、70 代以上が約 2 割を占める。“女性優遇”では、いずれも 1 割未満となっている。

◆前回調査・福島県調査・全国調査との比較

“男女平等である”の割合が最も高いものの、福島県や全国と比べて12ポイント以上低い。また、“男性優遇”の割合は、前回調査と比べてわずかではあるが増加している。



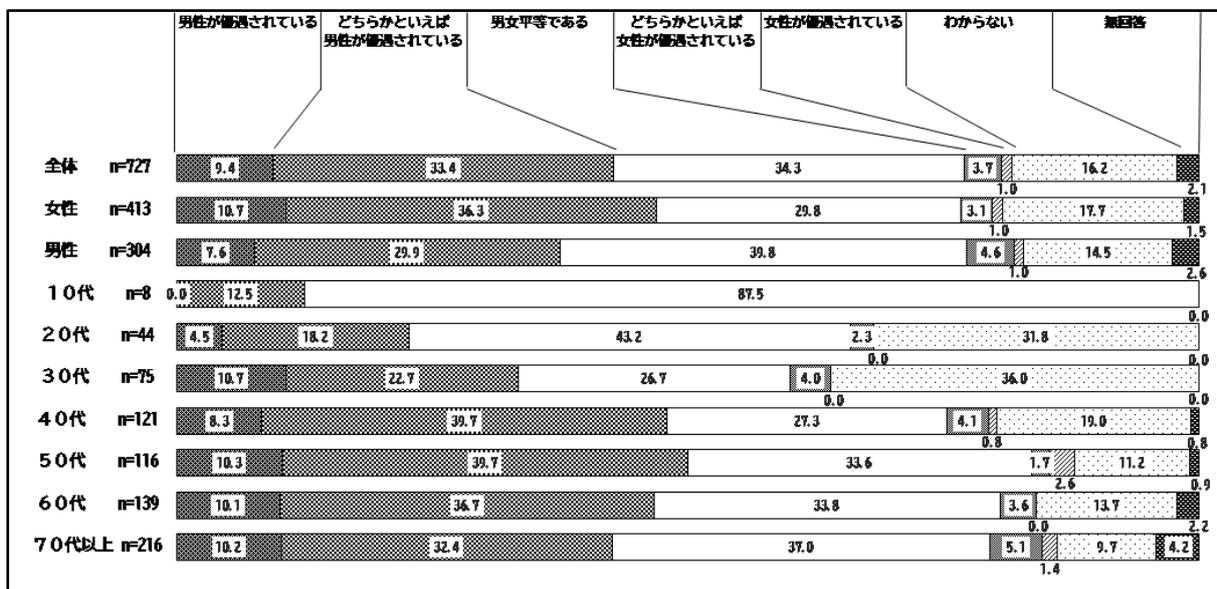
(※無回答を除き100として再計算した割合)

(%)	“男性優遇”	「平等である」	“女性優遇”
今回調査	21.2	52.1	2.6
前回調査	19.8	53.1	3.9
福島県調査	17.6	64.1	5.2
全国調査	25.1	69.6	5.4

④地域活動の場

◇全体

“男性優遇” 42.8% > “男女平等である” 34.3% > “女性優遇” 4.7%



- 全体では、“男性優遇”が42.8%、“男女平等である”が34.3%、“女性優遇”が4.7%である。
- “男性優遇”は、女性が男性を上回り、年代別では40代以上の中高年代の割合が高い。
- “男女平等である”は、男性が女性を上回り、年代別では、10代から20代の若い年代の割合が高い。
- 男性は“男性優遇”と“男女平等である”の割合が同程度である。
- “女性優遇”の割合は、いずれも1割未満と低い。

◇性別

“男性優遇”は、女性(47.0%)が男性(37.5%)を9.5ポイント上回り、“男女平等である”は、男性(39.8%)が女性(29.8%)を10.0ポイント上回る。

一方、“女性優遇”は、男性(5.6%)が女性(4.1%)を1.5ポイント上回る。

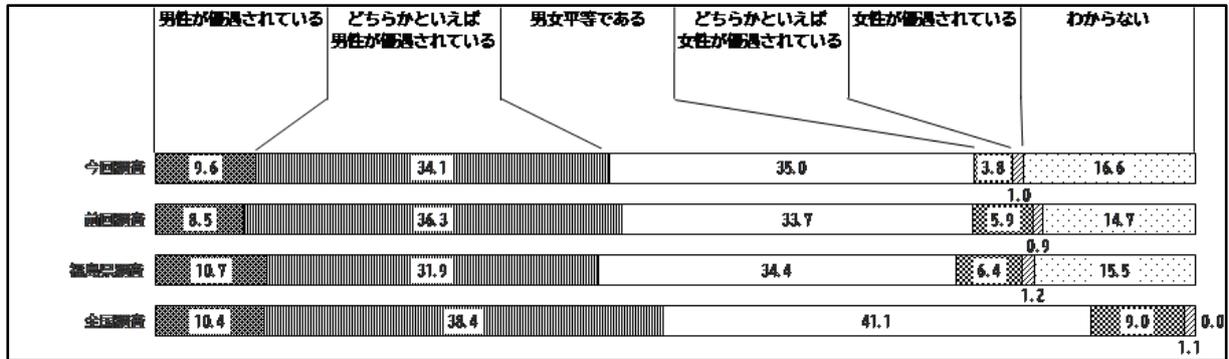
◇年代別

“男性優遇”は、50代(50.0%)をトップに40代(48.0%)、60代(46.8%)の中高年代が高く、反対に、“男女平等である”は10代から20代の若い年代が高い。

“女性優遇”は、いずれの年代も1割未満と低い。

◆前回調査・福島県調査・全国調査との比較

“男性優遇”の割合は、全国より5.1ポイント下回るが、“男女平等である”では、全国の方が6.1ポイント高い。また、“女性優遇”は、全国から5.3ポイント下回るとともに、前回調査よりも2.0ポイント減少している。



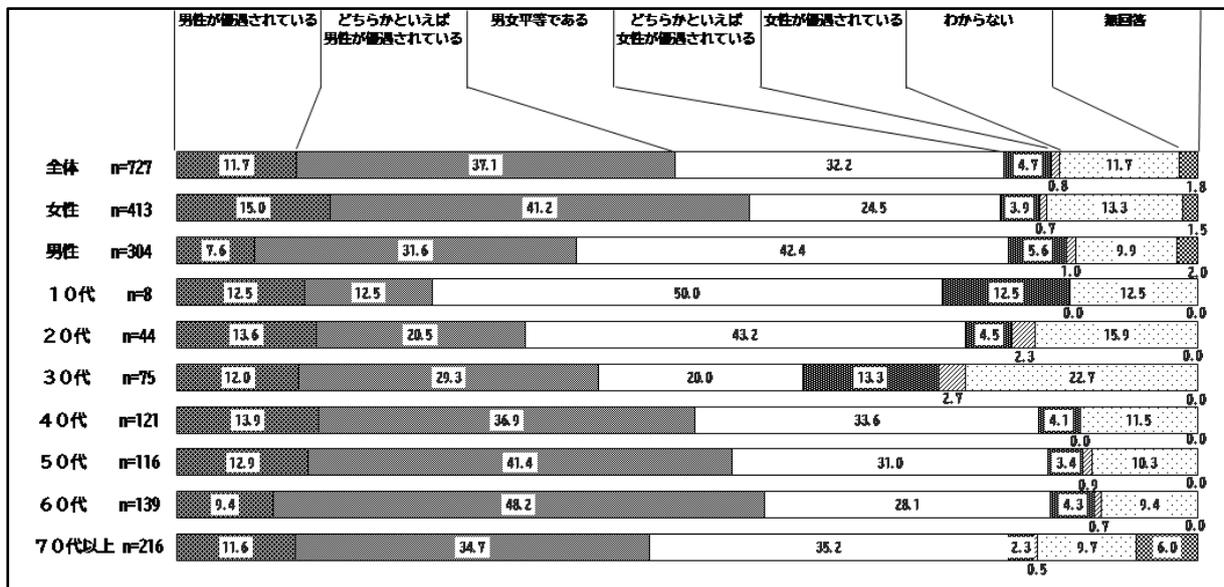
(※無回答を除き100として再計算した割合)

(%)	“男性優遇”	「平等である」	“女性優遇”
今回調査	43.7	35.0	4.8
前回調査	44.8	33.7	6.8
福島県調査	42.6	34.4	7.6
全国調査	48.8	41.1	10.1

⑤法律や制度上

◇全体

“男性優遇” 48.8% > “男女平等である” 32.2% > “女性優遇” 5.5%



- 全体では、“男性優遇”が48.8%、“男女平等である”が32.2%、“女性優遇”は5.5%である。
- “男性優遇”は、女性が男性を上回り、年代別では、60代と50代の割合が高い。
- “男女平等である”は、男性が女性を上回り、年代別では、10代と20代の割合が高い。また、“男性優遇”の割合が“男女平等である”を上回るのは、男性の場合と10代と20代を除く全ての年代となっている。
- “女性優遇”は、男性が女性を上回り、年代別では、10代、30代が1割台を占める以外は1割未満と低い。

◇性別

“男性優遇”は、女性（56.2%）が男性（39.2%）を17.0ポイント上回り、反対に、“男女平等である”は男性（42.4%）が女性（24.5%）を17.9ポイント上回っている。

また、“女性優遇”は、男性（6.6%）が女性（4.6%）を2.0ポイント上回っている。

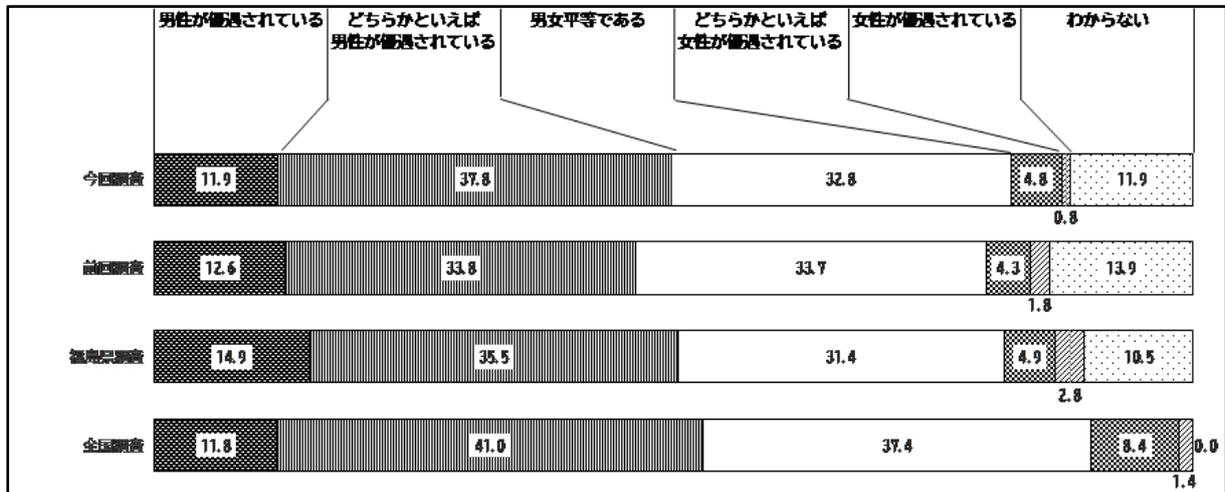
◇年代別

“男性優遇”は、40代から60代で5割以上と高い傾向にある。また、“男女平等である”は、10代から20代の若い世代で4割以上となっている。

“女性優遇”は、10代（12.5%）と30代（16.0%）以外は1割未満と低い。

◆前回調査・福島県調査・全国調査との比較

“男性優遇”の割合は、前回調査よりも3.3ポイント増加している。“男女平等である”は、全国の方が4.6ポイント高い。一方、“女性優遇”は、全国から4.2ポイント下回るとともに、前回調査よりも0.5ポイント減少している。



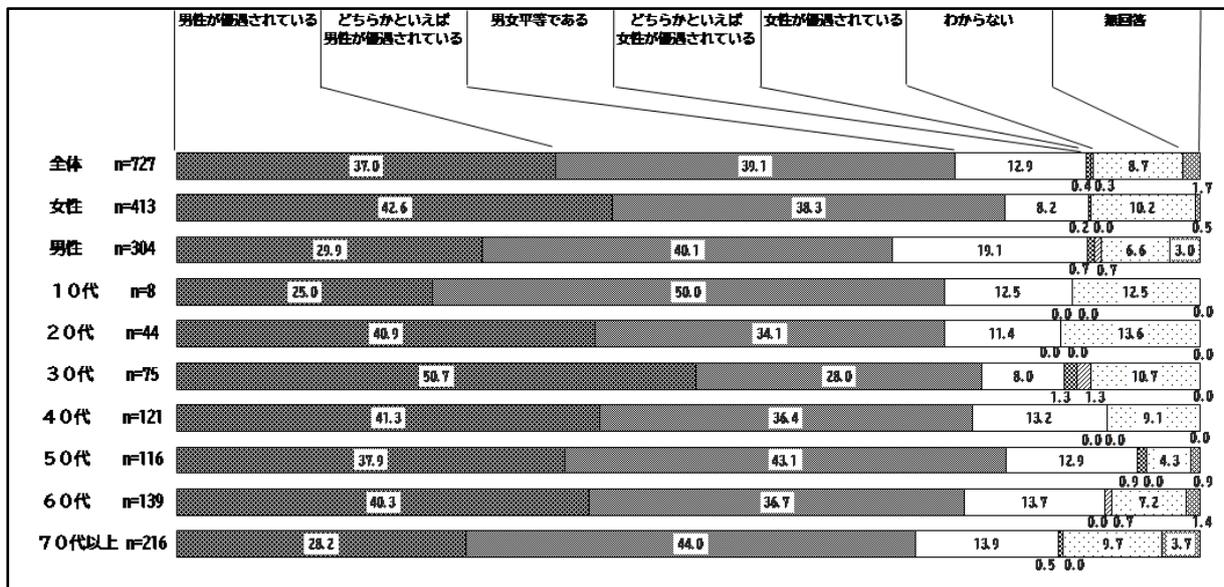
(※無回答を除き100として再計算した割合)

(%)	“男性優遇”	「平等である」	“女性優遇”
今回調査	49.7	32.8	5.6
前回調査	46.4	33.7	6.1
福島県調査	50.4	31.4	7.7
全国調査	52.8	37.4	9.8

⑥政治の場

◇全体

“男性優遇” 76.1% > “男女平等である” 12.9% > “女性優遇” 0.7%



- 全体では、“男性優遇”が76.1%と高く、“男女平等である”は12.9%、“女性優遇”は0.7%である。
- “男性優遇”は、男女、各年代とも7割から8割程度と高く、中でも、女性（80.9%）と50代（81.0%）が上位にある。一方、“女性優遇”は、いずれも数パーセント以下と極端に低い。
- “男女平等である”は、男性が女性を上回り、年代別では、30代以外で1割台である。

◇性別

“男性優遇”の割合は、女性（80.9%）が男性（70.0%）より10.9ポイント上回り、“男女平等である”は、反対に男性（19.1%）が女性（8.2%）を10.9ポイント上回る。

一方、“女性優遇”の割合は、女性（0.2%）、男性（1.4%）ともにわずかである。

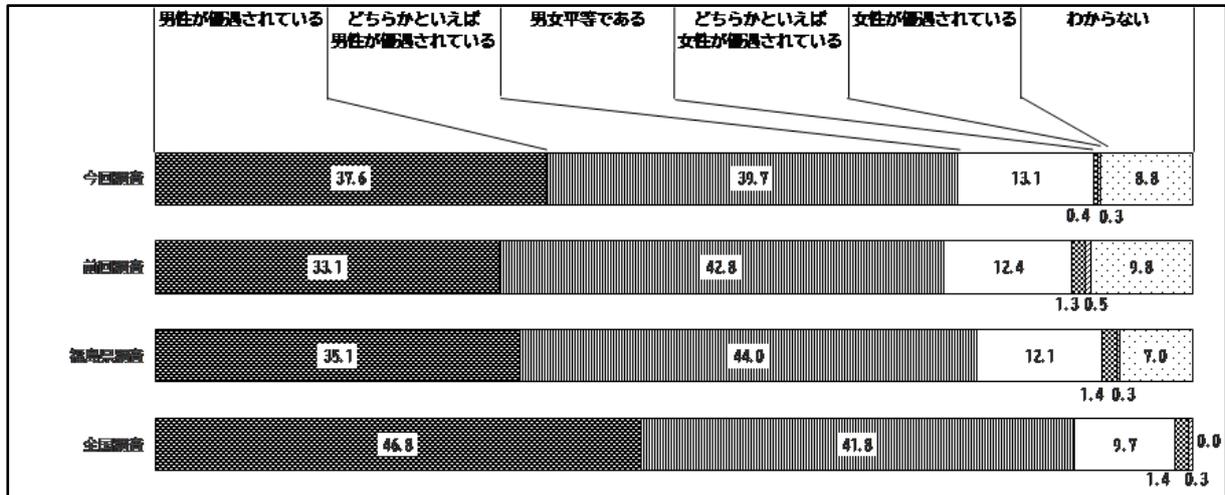
◇年代別

“男性優遇”の割合は、いずれの年代も7割から8割と高く、50代（81.0%）をトップに30代（78.7%）、40代（77.7%）が上位にある。

“男女平等である”は、30代（8.0%）以外、1割台である。また、“女性優遇”はいずれも1割未満と低い。

◆前回調査・福島県調査・全国調査との比較

7割以上と高い割合の“男性優遇”は、全国が他を上回る一方、“男女平等である”は、全国を3.4ポイント上回った。“女性優遇”は今回調査が他よりも低い割合となっている。



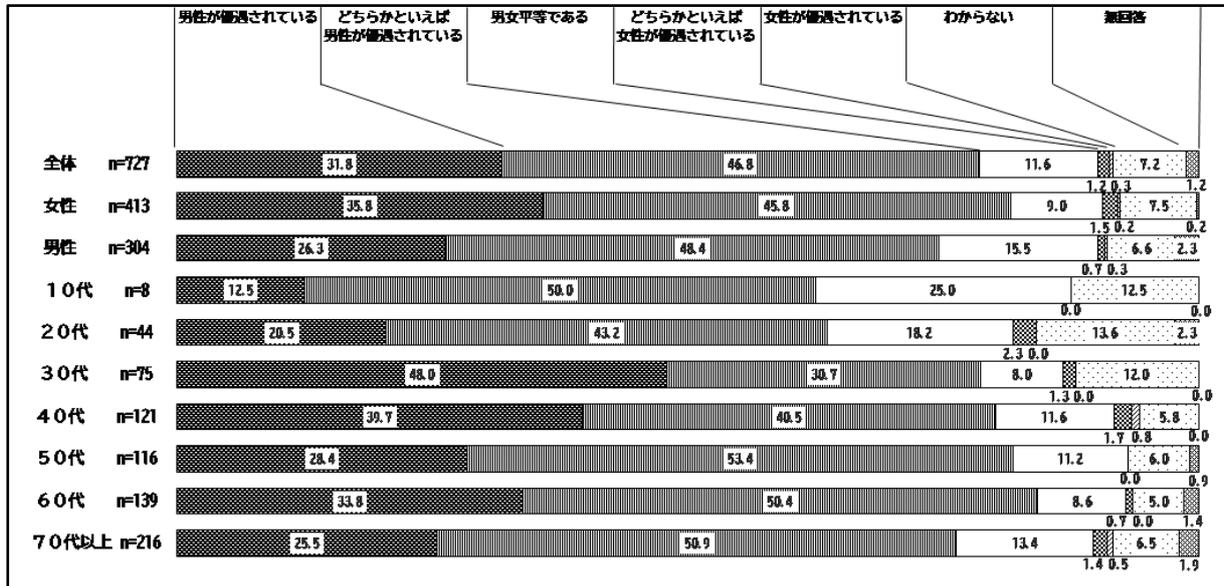
(※無回答を除き 100 として再計算した割合)

(%)	“男性優遇”	「平等である」	“女性優遇”
今回調査	77.3	13.1	0.7
前回調査	75.9	12.4	1.8
福島県調査	79.1	12.1	1.7
全国調査	88.6	9.7	1.7

⑦社会通念、慣習・しきたり

◇全体

“男性優遇” 78.6% > “男女平等である” 11.6% > “女性優遇” 1.5%



- 全体では、“男性優遇”が78.6%と高く、“男女平等である”は11.6%、“女性優遇”は1.5%である。
- “男性優遇”は、男女とも高い割合にあってかつ女性が男性を上回る。年代別では、いずれの年代も高い割合にある中で、30代から60代が上位である。
- “男女平等である”は、10代(25.0%)が最も高く、最も低いのが30代(8.0%)である。また、“女性優遇”は、いずれも1割未満と低い。

◇性別

“男性優遇”の割合は、女性(81.6%)が男性(74.7%)を6.9ポイント上回り、反対に“男女平等である”は男性(15.5%)が女性(9.0%)を6.5ポイント上回る。

“女性優遇”の割合は、女性(1.7%)、男性(1.0%)ともにわずかである。

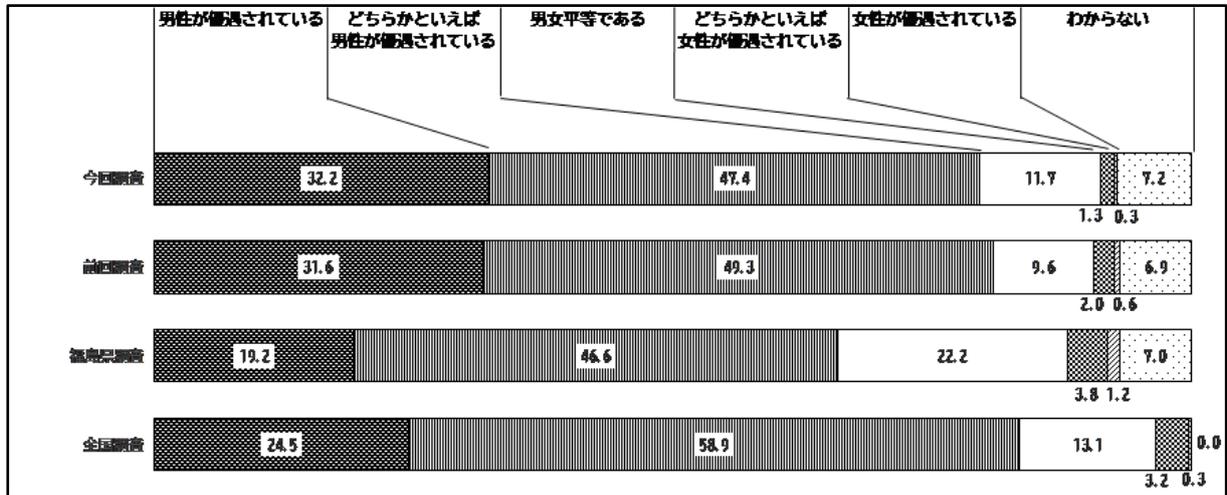
◇年代別

“男性優遇”の割合は、10代(62.5%)と20代(63.7%)を除きいずれの年代も7割以上を占めて高く、その中で60代(84.2%)、50代(81.8%)、40代(80.2%)が上位にある。

“男女平等である”は、10代(25.0%)をトップに、20代(18.2%)、70代以上(13.4%)が続き、“女性優遇”はいずれも1割未満と低い。

◆前回調査・福島県調査・全国調査との比較

“男性優遇”の割合は、全国が最も高く、わずかながら前回調査より減少している。“男女平等である”は、福島県より10.5ポイント低いが、前回調査から2.1ポイント増加している。



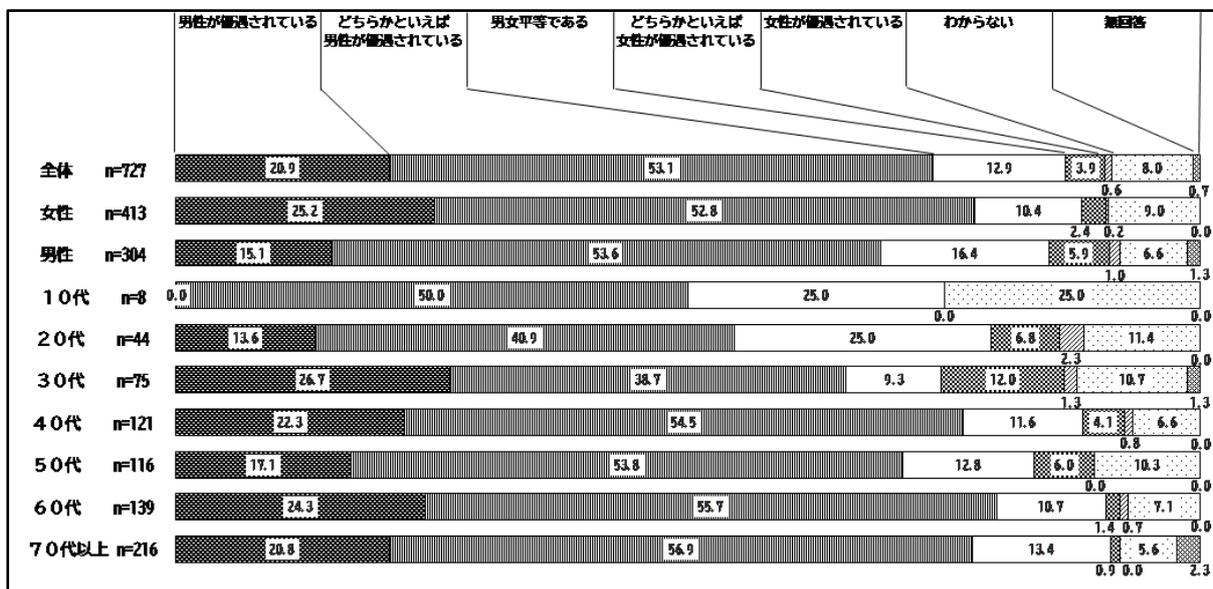
(※無回答を除き100として再計算した割合)

(%)	“男性優遇”	「平等である」	“女性優遇”
今回調査	79.6	11.7	1.6
前回調査	80.9	9.6	2.6
福島県調査	65.8	22.2	5.0
全国調査	83.4	13.1	3.5

⑧社会全体

◇全体

“男性優遇” 74.0% > “男女平等である” 12.9% > “女性優遇” 4.5%



- 全体では、“男性優遇”が74.0%、“男女平等である”が12.9%、“女性優遇”は4.5%である。
- “男性優遇”は、男女ともに高い割合にあってかつ女性が男性を上回り、年代別では、最も高い割合の60代（80.0%）をトップに、40代以上の中高年代で特に高い。
- “男女平等である”は、男性が女性を上回り、年代別では10代と20代（25.0%）をトップに、1割台が続く。
- “女性優遇”は、30代（13.3%）のみ1割台で、他の年代はいずれも1割未満と低い。

◇性別

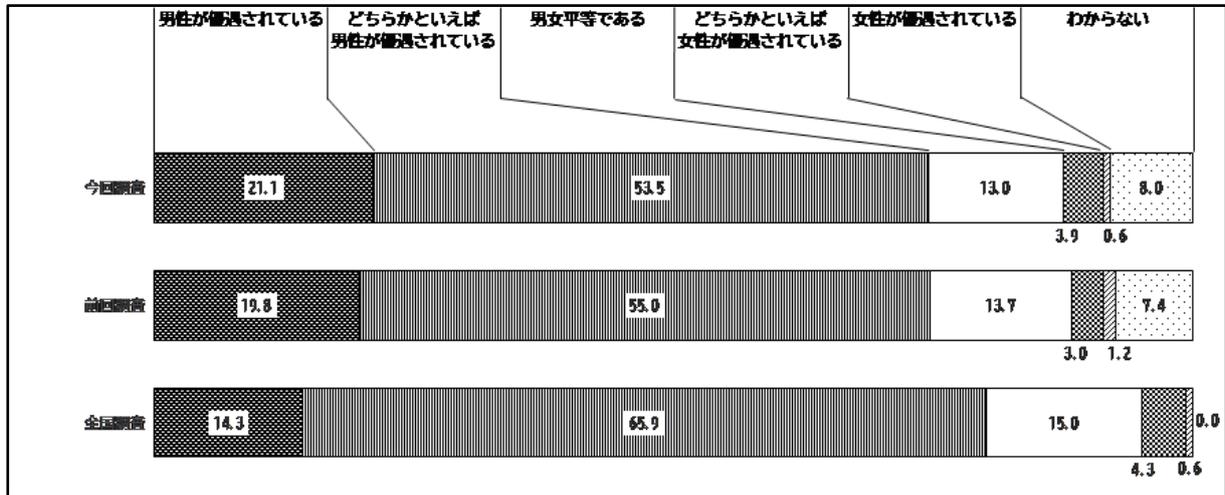
“男性優遇”の割合は、女性（78.0%）が男性（68.7%）を9.3ポイント上回り、“男女平等である”は、男性（16.4%）が女性（10.4%）を6.0ポイント上回る。また、“女性優遇”は、男女とも1割未満と低い。

◇年代別

“男性優遇”の割合は、60代（80.0%）をトップに70代以上（77.7%）、40代（76.8%）の中高年代が続く、“男女平等である”は、10代と20代（25.0%）の若い年代が上位にある。また、“女性優遇”は、30代（13.3%）のみ1割を超えているが、他の年代では1割未満と低い。

◆前回調査・全国調査との比較

“男性優遇”の割合は、前回調査とほぼ同じであり、全国から5.6ポイント下回る。一方、“男女平等である”と“女性優遇”の割合は、全国と同様に低い。



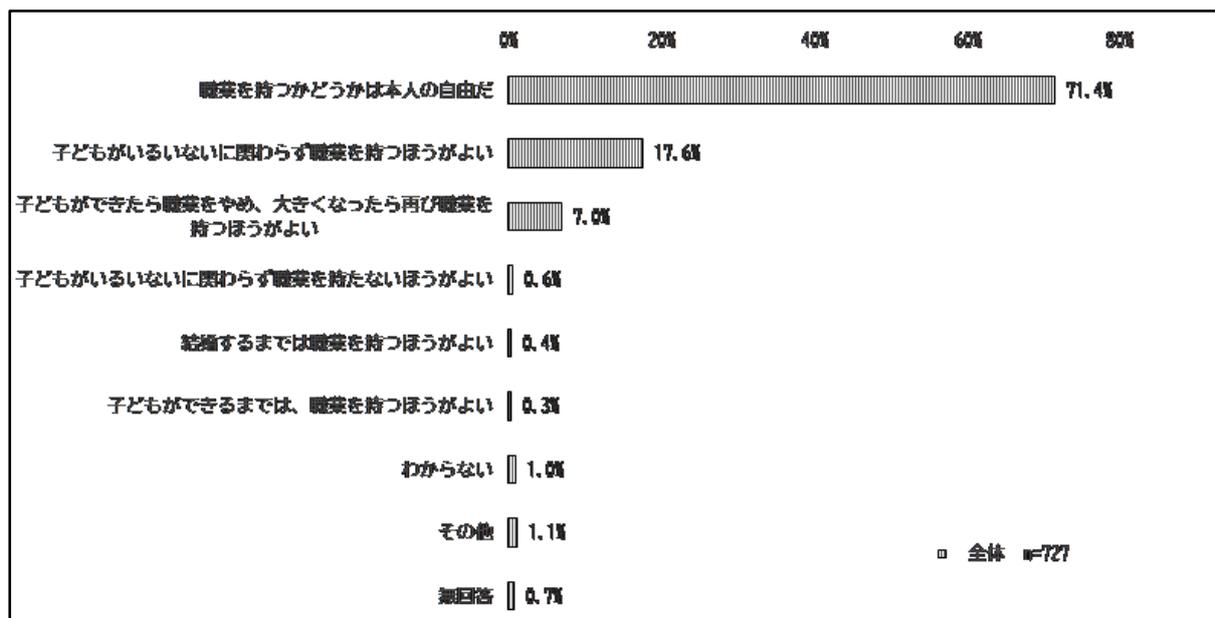
(※無回答を除き100として再計算した割合)

(%)	“男性優遇”	「平等である」	”女性優遇”
今回調査	74.6	13.0	4.5
前回調査	74.8	13.7	4.2
全国調査	80.2	15.0	4.9

(2) 女性が職業を持つことについて

問 6	あなたは、女性が職業を持つことについて、どう思いますか。
-----	------------------------------

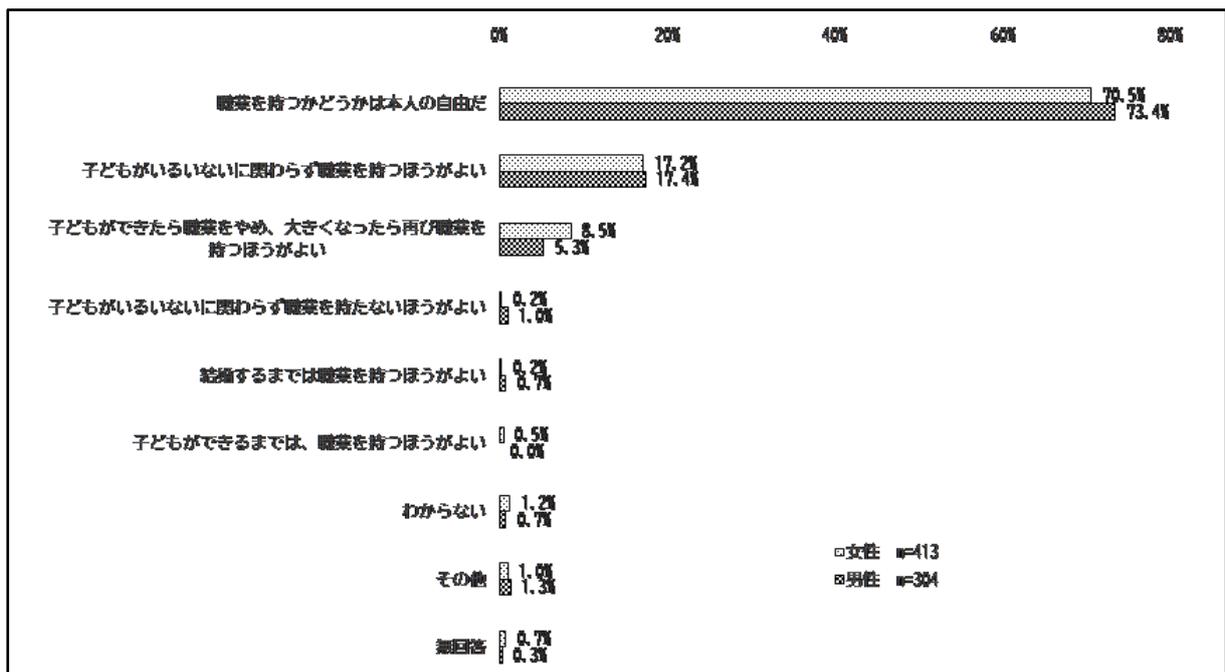
◇全体



- 「職業を持つかどうかは本人の自由だ」(71.4%)が圧倒的に高く、次いで「子どもがいるいないに関わらず職業を持つほうがよい」(17.6%)である。
- なお、「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つほうがよい」(7.0%)など、他の項目の割合は低い。

◇性別

「職業を持つかどうかは本人の自由だ」と「子どもがいるいないに関わらず職業を持つほうがよい」とも、女性と男性の割合はほぼ同じである。



◇年代別

「職業を持つかどうかは本人の自由だ」は、全ての年代で一番割合が高い。次いで、「子どもがいるいないに関わらず職業を持つほうがよい」が10代を除く全ての年代で割合が高くなっている。

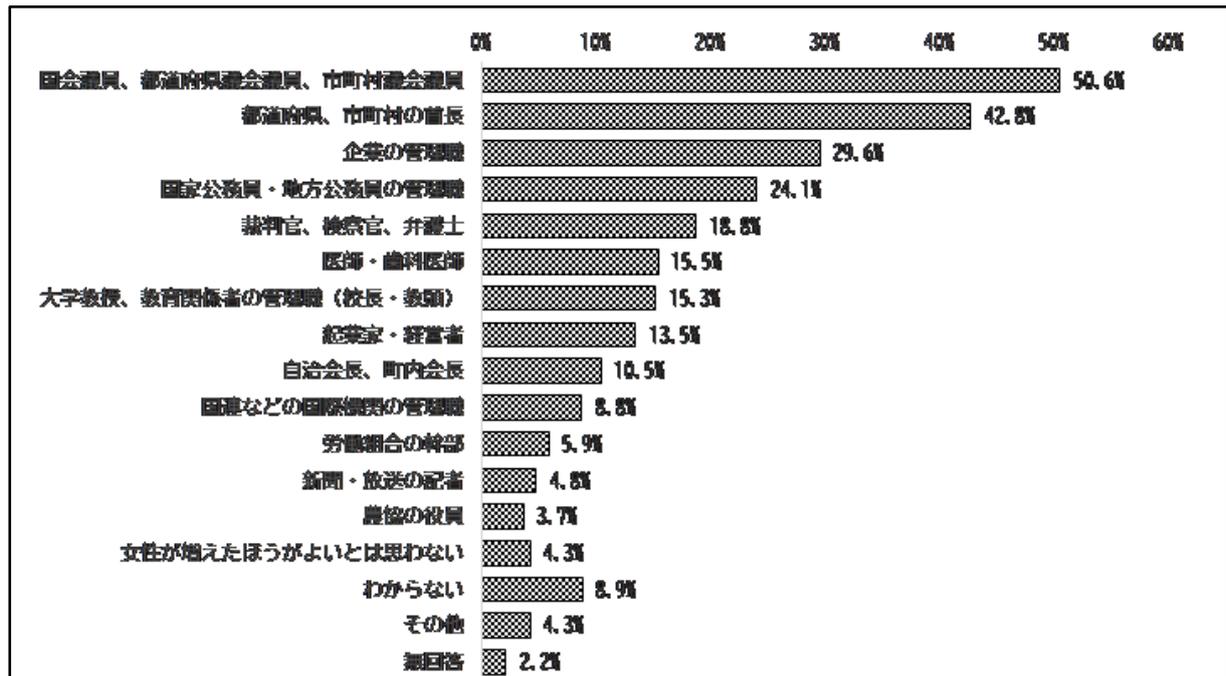
「子どもができたら職業を辞め、大きくなったら再び職業を持つほうがよい」は、他の年代に比べ、70代以上(13.0%)の割合が高い。

	合計	職業を持つかどうかは本人の自由だ	子どもがいるいないに関わらず職業を持つほうがよい	子どもがいないいないに関わらず職業を持たないほうがよい	結婚するまでは職業を持つほうがよい	子どもができるまでは、職業を持つほうがよい	子どもができたら再び職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つほうがよい	わからない	その他	無回答	
全体	727	71.4	17.6	0.6	0.4	0.3	7.0	1.0	1.1	0.7	
年代別	10代	8	87.5					12.5			
	20代	44	77.3	15.9		2.3	2.3		2.3		
	30代	75	78.7	10.7	1.3		6.7		2.7		
	40代	121	76.9	18.2			2.5	0.8	0.8	0.8	
	50代	116	75.0	14.7	0.9	0.9	5.2	1.7	1.7		
	60代	139	71.9	17.3		0.7	0.7	5.8	0.7	0.7	2.2
	70代以上	216	62.5	21.8	0.9		0.5	13.0	0.9	0.5	

(3) 女性が増えたほうが良いと思う職業や役職

問7	あなたが、次にあげる職業や役職で女性が増えたほうがよいと思うものはどれですか。(複数回答)
----	---

◇全体

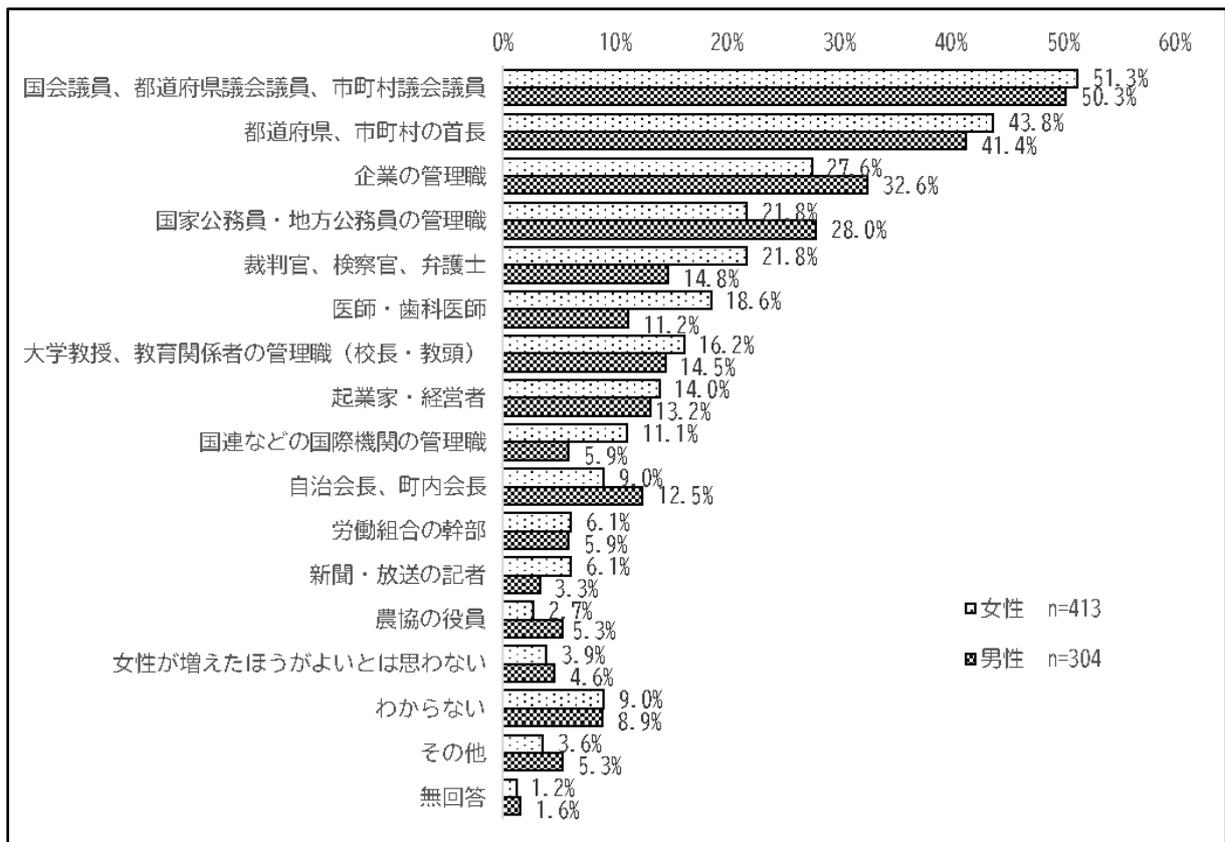


- 「国会議員、都道府県議会議員、市町村議会議員」(50.6%)が最も高く、以下、「都道府県、市町村の首長」(42.8%)、「企業の管理職」(29.6%)、「国家公務員・地方公務員の管理職」(24.1%)が続き、上位を占める。
- 一方、「新聞・放送の記者」や「農協の役員」などの割合が低い。

◇性別

「国会議員、都道府県議会議員、市町村議会議員」と「都道府県、市町村の首長」は、女性と男性の割合がほぼ同じである。

一方、「企業の管理職」と「国家公務員・地方公務員の管理職」の割合は、男性が女性より高く、「裁判官、検察官、弁護士」と「医師・歯科医師」の割合では、女性が男性を上回る。



◇年代別

「国會議員、都道府県議会議員、市町村議会議員」は、どの年代も高く、中でも40代と60代では約6割を占める。

「都道府県、市町村の首長」は、40代で高くなっている。「企業の管理職」は、30代から50代と70代以上の割合が高い。

	合計	都道府県、市町村の首長	国會議員、都道府県議会議員、市町村議会議員	国家公務員・地方公務員の管理職	裁判官、検察官、弁護士	大学教授、教育関係者の管理職（校長・教頭）	国連などの国際機関の管理職	企業の管理職	起業家・経営者	医師・歯科医師	労働組合の幹部	農協の役員	新聞・放送の記者	自治会長、町内会長	女性が増えたほうがよいとは思わない	わからない	その他	無回答	
全体	727	42.8	50.6	24.1	18.8	15.3	8.8	29.6	13.5	15.5	5.9	3.7	4.8	10.5	4.3	8.9	4.3	2.2	
年代別	10代	8	12.5	37.5	37.5		12.5	12.5	12.5	25.0		12.5		12.5	12.5	25.0			
	20代	44	38.6	54.5	31.8	25.0	18.2	2.3	22.7	11.4	15.9	6.8	2.3	4.5	4.5	4.5	4.5	2.3	
	30代	75	33.3	49.3	25.3	22.7	17.3	6.7	32.0	14.7	14.7	5.3	4.0	8.0	5.3	6.7	8.0	8.0	1.3
	40代	121	62.0	59.5	29.8	19.8	14.9	9.1	34.7	9.1	17.4	8.3	5.8	3.3	10.7	3.3	5.8	3.3	
	50代	116	47.4	49.1	21.6	25.0	12.1	12.9	31.0	15.5	12.1	6.9	3.4	5.2	10.3	3.4	8.6	6.9	1.7
	60代	139	43.9	56.1	23.0	18.0	15.8	10.8	23.7	14.4	12.9	7.9	3.6	2.9	5.8	3.6	10.1	2.9	0.7
70代以上	216	34.3	44.4	21.3	14.4	16.2	7.9	31.0	14.8	18.1	3.7	2.8	6.9	16.2	4.2	10.6	3.2	2.3	